

2018(平成30)年11月28日

～電車内でのマナーを4コマ漫画でユーモラスに表現～

京阪電車マナーポスター「マナー名作劇場」 シリーズ第3弾を12月1日(土)から掲出します

京阪電気鉄道株式会社(本社：大阪府中央区、社長：中野道夫)では、電車内でのマナー向上を呼びかけるマナーポスター「マナー名作劇場」シリーズを2018年4月から展開しており、12月1日(土)から第3弾を掲出します。

今シリーズでは、誰もが知っている童話のワンシーンをモチーフに、マナーが守られていない状況を4コマ漫画で描いています。車内とは関係ない場所にもかかわらず、登場人物が思わず乗車マナーを指摘してしまう様子をユーモラスに表現することで、マナー向上を呼びかけます。また、昨年に引き続き、駅構内の旅客案内ディスプレイでは動画版を配信しています。

第3弾のポスターでは「座席の座り方」をテーマに、助けを求める白雪姫と、ベンチに座ったまま場所を譲らない7人の小人が登場し、思いやりのあるマナーとは何かを表現します。

当社では、今後も引き続きマナーポスターをはじめ、車内放送など様々な機会を通じて、マナーへのご理解とご協力を呼びかけ、快適な駅や車内環境の実現に努めていきます。

マナーポスターの概要は別紙のとおりです。



12月～3月掲出ポスター(テーマ：座席の座り方)

